

フランスにおける施設・在宅ケア 政策の現状と行方

～成功と失敗から学ぶコロナ対策～

1月28日(金)

18時～19時30分



在宅入院サンテ社の院内薬局(デリバリーシステム)

パリから現地配信

オンライン海外研修第4弾はフランス・パリから。パリに永く在住し、医療・介護制度に精通した奥田七峰子氏が、同国における医療や介護現場におけるコロナの影響や対策を解説。入院回避や在院日数短縮に貢献する独自の在宅入院制度はコロナ禍でどう機能したのか。コロナ死亡者数12万人のうち約半数は高齢者施設入居者という結果から何を学び、何を未来につなげていくのか。山崎摩耶氏をコーディネーターとして議論していく。

「フランス・オンライン研修」ZOOMセミナー

18:00～18:05 主催者挨拶(高齢者住宅新聞社)



フランスの介護事情と演者紹介

山崎摩耶氏(前衆議院議員)

18:05～18:55 奥田七峰子氏講演

フランスにおける施設・在宅ケア政策の現状と行方

- ・フランスにおける介護制度
- ・施設・在宅現場でのコロナ対策
- ・医療・介護連携拠点でのケアマネジャーの役割
- ・コロナ禍でかかりつけ医が果たした役割
- ・フランスにおける在宅医療、在宅入院制度(HAD)の紹介
- ・コロナ禍で在宅入院制度(HAD)がどう機能したか
- ・フランス人と日本人のコロナに対する意識の違い

講師：奥田七峰子氏



パリ市内の高齢者施設(イメージ)



18:55～19:35 奥田七峰子氏と山崎摩耶氏の対談、質疑応答

奥田七峰子(おくだなおこ)氏プロフィール

1992～93年、AXAアシスタント パリ本社、93年～2004年アメリカン・ホスピタル・オブ・パリにて医療通訳として勤務。98年より日本医師会総合政策研究機構フランス駐在研究員、現在に至る。フランスの医療・看護・介護制度、政策ニュースを日本へ発信。医療系サイトm3ドットコムに『フランス便り』連載中。活動の詳細は、<https://www.naokookuda.fr>にて。

ZoomのURLは、聴講費用をお支払いいただいた後、開催日の1～2日前に、メールにてお送りいたします。※事前のお申し込みが必要です。メールの転用行為を禁止しています。複数名の参加を希望されるご法人様は、参加者毎のお申し込みをお願いいたします。社名を必ずご記入下さい。定員(500名)になり次第締め切ります。※定員に達した場合、ご了承下さい。

QRコードから
申込できます



※QRコードの商標はデンソーウェブの登録商標です。

聴講費用 3,300円(税込)

お申込みは高齢者住宅新聞社、お支払いはトラベル・パートナーズが窓口となります。お申込み後、請求書払いかカード払いをお選びいただけます。お支払いに関してのご連絡は、トラベル・パートナーズからとなります。※右記のQRコードからお申し込み下さい。

お問い合わせは

主催：株式会社高齢者住宅新聞社 TEL.03-3543-6852
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
共催：株式会社トラベル・パートナーズ
コーディネーター：山崎摩耶氏(前衆議院議員)